

1	審査対象	胞状奇胎の掻爬手術を受けた患者さんのカルテ調査
2	課題名	胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究
3	責任医師（者）	職名 谷本 敏
	協力医師（者）	職名 尾谷 功
	協力医師（者）	職名 竹中 由夏
	協力医師（者）	職名 小林 智子
	協力医師（者）	職名 松川 仁登美
4	概要（具体的に記載すること）	<p>(1) 目的 胞状奇胎術後の再掻爬の必要性を確認すること</p> <p>(2) 対象及び方法 2014年1月1日～2016年12月31日までの3年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さん 上記患者さんの病歴をカルテから取得、調査する</p> <p>(3) 実施場所及び実施期間 当院（ならびに全国の施設） 2019年6月30日まで</p>

(4) 審査を希望する理由

院内の倫理委員会の承認が研究参加の必要条件

5 実施計画の医療行為等における倫理的配慮について

[※(1)～(3)は必ず記入のこと]

(1) 対象者の人権擁護

匿名化により個人の特特定が出来ない  
データは厳重な管理の下に保管される

(2) 対象者に理解を求め同意を得る方法

ホームページ上で公開

(3) 対象者への不利益及び危険性

危険性は無く、不利益は生じないと考える

(4) 予測される医学的貢献

本研究により、本邦での胞状奇胎管理に寄与することができる  
再掻爬の要否と選別について提言可能となる指針を作成できる可能性  
がある

(5) その他